

平成 26 年度「総務省の政策評価に関する有識者会議」の議事概要

1 日時：平成 26 年 6 月 2 日（月）16 時 10 分～17 時 10 分

2 場所：総務省省議室

3 出席者

(1) 構成員（敬称略）

北大路 信郷 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授（座長）

菊地 端夫 明治大学経営学部公共経営学科准教授

西出 順郎 岩手県立大学総合政策学部教授

山本 清 東京大学大学院教育学研究科教授

【田中弥生構成員は欠席】

（以上 4 名）

(2) 事務局

佐々木官房総括審議官、武田官房政策評価審議官、小森官房政策評価広報課長 ほか

4 議題

(1) 平成 27 年度に総務省において実施する主要な政策の目標設定等について（平成 26 年度事前分析表）

【内容】

平成 27 年度に総務省において実施する主要な政策の目標設定等について、平成 26 年度事前分析表案をもとに、事務局から説明。引き続き、「政策 5 地域振興（地域力創造）」、「政策 6 地方財源の確保と地方財政の健全化」、「政策 12 放送分野における利用環境の整備」、「政策 13 情報通信技術利用環境の整備」、「政策 15 ICT 分野における国際戦略の推進」、「政策 18 恩給行政の推進」、「政策 20 消防防災体制の充実強化」に係る目標設定等について、全員で意見交換、議論。

(2) その他（自由討議）

【内容】

政策評価の標準化、事前分析表の構成・記載内容について、全員で意見交換、議論。

(3) 座長による総括

【内容】

当日行われた意見交換及び議論の結果を踏まえ、北大路座長より以下のとおり総括。

- ・ 事前分析表において、より分かりやすくしていくための情報を増やして記載してもらうことはできるのではないか。
- ・ 将来実現したいことを、定性的なことを備考欄に入れるなど、もっと書き込めるような工夫を。

以上